

武漢事務所週刊ニュース（2014年7月19日～25日）

## 華中地域最大のサルスベリ園、武漢の新しい花見公園が開園

7月20日 長江ネット

昨日、新洲区サルスベリ都市田園に、華中地区最大のサルスベリ園が開園した。

サルスベリ都市田園は新洲区に位置し、総敷地面積は約100ヘクタールである。サルスベリでできている建物の廊下やドア、花瓶、動物の形のモニュメント、文字など、200あまりの展示物を見物できる。田園には100万本以上のサルスベリがあり、紫色の花の他に、珍しい赤と白のサルスベリもある。特に樹齢100年以上のサルスベリは2000本あり、サルスベリのクイーンと呼ばれる樹齢800年のサルスベリも健在である。

オープン初日で、1万人以上の観光客を迎えた。都市田園のサルスベリの保有数と品質はいずれも華中地域トップレベルである。

サルスベリのシーズンは9月。都市田園は9月に無料で市民に開放する予定。

## 東方航空武漢公司 湖北省で最大の航空会社に

7月22日 湖北日報

7月22日14時10分、東方航空会社が導入した斬新なボーイン

グ 737-800 型旅客機一機が武漢天河空港に到着した。これで、東方航空武漢会社の保有する旅客機は 25 機に達し、湖北省では機体数の一番多い航空会社となった。

新規導入された旅客機の番号は B1965。7 月 19 日にアメリカのボーイング基地を出発し、22 日 10 時に上海に到着。入国手続き完了後、武漢天河空港へ調達された。

このボーイング社の新型機は、ファーストクラス 12 席、エコノミークラス 150 席あり、通常の飛行機と比べてファーストクラスの座席数は 50%増加し、エコノミークラスもより広く、座りやすくなった。ベストシーズンの夏休みの時期には空の旅に便利なサービスを提供する。

最近、東方航空は新規導入した機体の運輸能力を生かし、武漢から煙台、ハルピン、貴陽、昆明線を新たに開通させた。

さらに夏休みには、マレーシアへのチャーター機を飛ばす予定。そして武漢-台南線をチャーター便から週 3 回の定期便に変更し、台湾までの便を毎週 6 便飛ばす予定。